

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成  
事業計画（実行団体）**

事業名(主)	よこはま型若者ニューディール
事業名(副) ※任意	コロナ禍社会で生き抜くための人材育成事業

入力数 主 14 字 副 20 字

実行団体名	認定NPO法人コロンプスアカデミー
資金分配団体名	新型コロナウイルスの影響により仕事を失った若者支援のためのコンソーシアム

**優先的に解決すべき社会の諸課題**

領域	分野
<input type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
	<input type="checkbox"/> ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	<input type="checkbox"/> ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ④働くことが困難な人への支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input checked="" type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ⑥地域の働く場づくりの支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/>
------------------------	--------------------------

入力数 0 字

**SDGsとの関連**

ゴール
_8.働きがいも経済成長も
_11.住み続けられるまちづくりを
_1.貧困をなくそう
_4.質の高い教育をみんなに

実施時期	2020年 10月 ~ 2022年 1月	事業 対象地域	<input checked="" type="checkbox"/> 全国 <input type="checkbox"/> 特定地域 ( )	事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	新型コロナウイルスによる影響を受けて収入が減少した若者（シフトの減少など含む）のうち、団体の提供する生活支援、家族支援を含めた自立へのサポートを望む方、もしくは提供するサポート内容により状況改善が見込めると団体が判断した方	事業 対象者人数	15名程度
------	----------------------	------------	---	---------------------------------------	---	-------------	-------

**I. 団体の社会的役割**

<b>(1)申請団体の目的</b>
<p>創立32年の若者支援団体です。生きづらさを抱える子ども若者に対し、共に生きる支援をしてきました。理解しづらい行動、自己表現がニガテで誤解され、キズつき、引きこもるか、病気に逃げ込むしかない、生きづらさの中、もがき、苦しみ、あげくは自分の周囲をも傷つけてしまう・・・そんな若者に対し、「共に生きる住まい」「困難を抱えつつも働ける場づくり」「支え合う仲間・コミュニティ」の3つを活動の軸にしています。</p>
<b>(2)申請団体の概要・事業内容等</b>
<p>一人ひとりの経済的な自立を見据えながらサポートに努め、自主事業や行政からの委託で、相談・居場所・学習支援・就労支援・保護者会などを行っています。現在は、当初の不登校支援から対象も広がり、予防、早期支援のためにも「おもしろい子（個）を育てる」をテーマに、子育て広場や学童保育、こども食堂も運営し、多様な世代との関わりの中で育っていくことや乳幼児期から青年期までの「途切れのない支援」を目指しています。</p>

入力数 (1) 200 字 (2) 199 字

**II. 事業の背景・社会課題**

<b>新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題</b>
<p><b>【対象者の抱える問題・課題とその要因】</b>          「生きづらさを抱える若者」とは不登校や不登校などの状態、社会的なひきこもり状態などの状況にあり、継続した就労自立が難しい状況の方を対象にしています。本人や家族が社会的なつながりが薄く、支援に繋がりにくい、経済状態が困窮している、家族の支援が受けられないなど、本人が持つ様々な課題だけでなく、その周辺の資源へのつながりがなくより困難な状況に陥っています。          働く為の技術的な問題よりも、関係性の課題が大きく、社会構造の変化の中であってより顕著に課題が浮き彫りになっています。  <b>【コロナウイルス感染の影響による深刻化、顕在化】</b>          求人の減による就職活動の停滞、非正規での就労についている方は労働時間減、社会システムの変化についていけない事（ICTツールなどの活用ができないなど）によるコミュニケーションの減、支援機関の縮小によりサポートが停滞、予期不安が増長し行動に制限など          上記の課題に記載した関係性を学ぶ機会が更に複雑化し、閉ざされた中で悩みを抱えている若者が増えています。  <b>【社会課題には、どのような解決の必要性・緊迫性】</b>          生活保護の手前での柔軟性のある給付・保障が必要だと考えます。新しい生活様式に対してすぐに対応できるのは能力的にも高く身分が保証された層の労働者です。雇用の調整弁にされるような人達を生活保護にしない為には出入りのしやすい給付と職業訓練のセットが必要です。  <b>【記載した内容は、どのような調査・情報源によるものか】</b>          対象者の抱える課題⇒グループの運営する支援プログラム実施に際し、本人の課題の聞き取りを行ったデータによるものコロナウイルスの影響 上記同様に非支援者からのヒアリングによるもの</p>

入力数 727 字

III.事業内容

<p><b>(1)具体的な就労支援対象者</b></p> <p>現在私たちが相談を受けている方の多くはバックグラウンドに発達課題やメンタルに課題があるが、青年期まで必要な支援に繋がらずに来た方が多く、すぐに正規就労は難しく、様々な支援を受けながら、ゆるやかな自立を目指す事が現実的です。また、親や家族に課題（親の精神的な病気など）や経済的な課題の有る方も多く本人だけの問題にとどまらず家族全体をサポートする必要もあります。</p>
---

入力数 179 字

<p><b>(2)就労支援プログラムの構成と支援対象者に対する効果</b></p> <p>①支援プログラムの構成</p> <p>1) 基礎研修 基本的なビジネスマナーや生活スキル(働く為の健康管理、自己管理、コロナ対策、生きる為のICTスキルなど)についての座学研修を行います。</p> <p>2) 実習 実際の現場でOJT (On the Job Training)を行います。自社運営の飲食部門デリバリー、ECサイト運営(簡単な操作を中心に)を中心に他に関心や適性がある場合は別の実習も可 現場での研修については一部賃金が支払われます。(雇用する時間については個別の状況により判断) 実習は自社での研修+地域の企業団体</p> <p>3) キャリアプランニング 実習と並行し、今後のキャリアプランについて専門スタッフがサポートします。就職活動も含めて実施</p> <p>4) 生活&amp;メンタルサポート 働く為の生活の安定を保つために生活面の支援を行います。希望者には住まいの提供、共同生活も可 医療との連携もケースにより実施</p> <p>5) 家族支援 本人の状況により、家族への支援が必要な場合は団体の実施する家族支援や必要な機関にリファーし連携して支援を行う。</p> <p>6) 資格取得サポート 運転免許の取得、パソコンスキルの習得などについては必要に応じてサポートします。</p> <p>②もたらされる効果</p> <p>グループ団体の運営する事業を多面的に活用し実施します。課題の発見については相談事業所や体験プログラム等で十分なバースペクティブ(見通し)をたてた上でプログラムに移行。また、側面的なケアについても生活支援を得意とする団体の資源を生かし、生活の場、メンタルサポート、家族支援、既存の支援機関との連携、アフターフォローまで行います。研修後の自社での継続雇用も積極的にいきます。</p>
---

入力数 699 字

(3)今回の事業実施で達成される状態(アウトプット)	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
<p>①困難を抱える若者に対し報酬を含む就労の場と自立へのトータルサポートを提供する</p> <p>②参加者が配達やECサイト運営業務など今後求められる職業スキルを身につける事ができる</p> <p>③参加者が報酬を得る事で生活基盤が安定する</p> <p>④参加者がグループ寮やスタッフのケアを通じて住まいやメンタル面、家族関係が改善する</p> <p>⑤参加者がその人の適性や性格に合った職を得ることができる</p> <p>⑥参加者が安定した社会生活の為に必要なセーフティネット(困った時に相談できる人や仲間)を得ることができる</p>	<p>①事業参加者数、事業実施時間数、</p> <p>②実習での業務スキルの到達度、資格取得人数</p> <p>③報酬支払額</p> <p>④生活、健康、メンタル、家族関係の改善した項目と度合い、人数</p> <p>⑤職を得た人数</p> <p>⑥個別のセーフティネットの構築と活用人数とその成果</p> <p>⑦事業のノウハウが他地域の団体で展開される</p>	<p>①実績数のカウント</p> <p>②実習現場の評価の聞き取り+カウント</p> <p>③支払い金額のカウント</p> <p>④支援員による第三者評価と参加者へのアンケート・ヒアリング</p> <p>⑤実績数のカウント</p> <p>⑥参加者へのアンケート・ヒアリング</p> <p>⑦連携団体へのアンケート・ヒアリング</p>	<p>①事業参加者数 18名</p> <p>②配達スキルを身につけた人10名 ECサイト操作スキルを身につけた人10名</p> <p>③支払い金額 8,760,150円</p> <p>④生活健康メンタル、家族関係が改善した人数 15名</p> <p>⑤職を得た人数 10名</p> <p>⑥セーフティネットを実感・活用する人 15名</p>	<p>①2022年1月</p> <p>②2022年1月</p> <p>③2022年1月</p> <p>④2022年1月</p> <p>⑤2022年1月</p> <p>⑥2022年1月</p> <p>⑦2022年1月</p>

<p><b>(4)事業実施後(1年後)以降に目標とする状態</b></p> <p>この事業で私たちの団体自体の「若者の働く場づくり」の取り組みが「新しい生活様式」に必要とされる事業が強化され、人材育成のプログラムが体系化される事。 私たちがこれまでも取り組みしてきた「サポート付き雇用」が強化され、支援を受けたい若者が生活保障を受けながら必要な支援を受ける事ができるようになる事。 地域で必要とされる人材が若者支援の現場から排出されるようになる事。 連携する奄美大島の団体を通じて、若者の就労支援の取り組みが継続して実施されており、横浜と連携したサポート体制ができています。</p>
---

入力数 246 字

(5)スケジュール	時期
事業準備】事務手続き、配給団体との打ち合わせ、事業スキームについての検討見直し、グループ内での共有	2020年10月～9月
参加者の募集】募集内容の検討 広報物の作成準備、支援団体への広報活動、募集受付、面接、申込み手続き その他	2020年10月～
事業開始】導入プログラムの実施 プログラムの進捗状況の共有、実習の準備 本人との定期面談、その他(第一期 11月開始 第二期 5月開始)	2020年11月～ 2020年5月～
実習開始】雇用契約の手続き 実習担当者との打ち合わせ、面接、説明 実習の実施、振り返り、報告の流れ サポート	2020年12月～ 2021年6月～
実施中のフォローアップ】生活面、メンタル、資格取得、その他 側面的な支援の実施 各部門スタッフとのカンファレンス	2020年11月～ 随時
アンケート・ヒアリングの実施】定期的なアンケートとヒアリング調査を実施し、目標の進捗状況について振り返り 軌道修正 報告書作成	随時
アフターフォロー】継続雇用が希望の場合、雇用の可否を判断 外部での就労を希望の場合 連携企業やハローワークと連携しマッチング	随時

IV.事業実施体制

<p><b>(1)メンバー構成と各メンバーの役割(資格、経験年数を含む)</b></p>	<p>●事務局責任者 福島恭子(社会福祉士 経験14年) ●プログラム統括 岩本真実(キャリアカウンセラー 経験25年)</p> <p>●就労実習サポート 飲食事業 鳴海加奈子 ECサイト事業 大和田哲 ●相談支援統括 渡辺克美(キャリアカウンセラー 団体代表者)</p> <p>●メンタルサポート 三浦真弓(看護師 精神保健福祉士) ●企業開拓 岩間美由紀(湘南若者サポートステーション統括責任者)</p>
<p><b>(2)他団体との連携体制</b></p>	<p>実習についてはグループ内での実習を経て、地域の同業種の企業、商店を想定しています。 実習先はこれまで連携のある企業と地域のまちづくり団体等との連携により新たな実習先も開拓予定。生活面でのサポートについては医療、福祉、行政などの専門機関との連携体制があり、今事業についても同様に実施</p>
<p><b>(3)想定されるリスクと管理体制</b></p>	<p>感染リスク対策】感染対策についてはグループのリスクマネジメント方針(自治体からの通達も含めて随時変更)にのっとり実施し、感染が起きた場合の体制も含めて見える化している。参加者には職員と同じ手順で契約時に会社規約について一通り説明して同意書を取ります。保護者には保証人の同意を取る</p>

V.関連する主な実績

(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無			
コロナウイルス感染症に係る事業			
①本申請事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動を実施している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 その詳細
②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない	無 <input checked="" type="checkbox"/>	※有の場合、選定の対象外となります（公募要領：助成方針参照）	
(2)申請事業に関連する実績			
(K2国際グループとしての実績) 若者支援当事者の自社での雇用実績 約120人（アルバイト雇用含む） 若者支援を目的とした飲食事業の運営実績 お好み焼きころんぶず（根岸本店、石川町店）事業開始から29年 アロハキッチン（みなと総合高校学食）10年 にこまる250食堂 パン屋のオヤジ うんめえもん市（東北物産、お弁当販売）養蜂事業 学童保育 その他 プログラム実績 Y-MAC よこはまアプレンティスシップセンター（合宿型就労支援プログラム）よこはま型若者自立塾（横浜市補助事業）などにより職場実習を経て自社で正規雇用実績 調査事業 2014年 公共経営・社会戦略研究所「中間的就労プログラム」SROI評価報告書 2017年 内閣府「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査」インパクトレポート 他 2018年 神奈川県SDGs社会インパクト評価実証事業			